

ぶらちなくらぶ会報 44号

前号でプライベートな話題を出した序でに又々夫の話で恐縮ですが・・・

昨夏、私はケアマネージャーとして親戚の医師に『其の人らしい最期を送る為の看取りケア』について相談をしていました。その翌月に夫が末期癌の宣告を受けるとは思いもよらずに。

夫は宣告を受けた後も、高熱や嘔吐の合間にもダンスレッスンに通い人生を楽しんでいました。

しかし今年3月に救急搬送され4月に管を付けた状態で退院になりダンスが出来なくなると、与えられた条件、その体でも楽しめる事として今度は自宅でチェロを習い始めました。

其の頃は既に食事も殆ど取れず、風貌は全く変わり、座り続ける事も声を出す事も辛そうでしたが先生の前では多少は凜としてチェロを弾き、夫らしく人生を楽しんでいました。

そして亡くなる数日前、昏睡状態の夫のベッド脇でチェロの先生に看護師や見舞いに来ている人達のいる中で自宅でのミニコンサートを突如お願いし、其の後、永眠直後と告別式でも演奏をして頂きました。

そんな最期の様子を知る訪問診療の医師と看護師から「昏睡状態でのミニコンサートの映像を病院の研修で使いたい」と仰られ、私は「在宅で其の人らしく人生を全うする為の終末期医療に理解を深めて下さる人が増えれば」との気持ちで映像を提供して、素晴らしい研修資料にして頂きました。

其れは一年前、昨夏の私の為でも有り、とても嬉しい事です。

また、ここ数ヶ月は法人として大きな混乱が有ったにも関わらず、子育て独自サロン『ぶらちな ぱーく』が現場スタッフと責任者の力で8月には予定通り谷中(綾瀬警察近く)で開所する事が出来ました。

オープン一週間前、準備が捗らずにいと、子育て中のママが『チョキチョキ工作員』となって可愛い装飾品を沢山作って下さったり、おもちゃの寄付を申し出て下さったり、会員もイラストレーターで地域の子育てマップを作ってくれたり、「イベント計画立てたよ!」とスペースの有効活用のアイデアを積極的に出してくれたりと皆がボランティアで気持ち良く協力して下さいました。

勿論、現場スタッフも“手作り感一杯”の段ボール工作や広告の紙で人形を作っては「もっと PR しないとね」とチラシ配りに奔走し、サロン責任者も地域の商店や会社、都心の企業との連携の為に猛暑の中、顔を真っ赤にしながら地域の子育て中の親子の為に企業連携のアイデアを提供して回ってくれています。

其れは40数年前、完成された物与えられる事に満足できずにいた子供の頃の私としてはとっても幸せな事です。

『NPO 法人ぶらちなくらぶ』は単に数値によって測れる物を追求する為の組織では有りません。

一人一人の大切な命の意味を理解し、其の人らしく生きる事が出来る社会作りの為に行政に働き掛けながら制度に盛り込む為の地道な努力や熱い思い、其れを感じて下さる多くの方々の協力の積み重ねの結果として少しずつ形作られてきた活動組織です。

しかし、残念な事にこれ等の形を作ってきた多くの人の協力の過程を蔑ろにして、出来上がった収益の形だけに焦点を当てて動く会員が出る事が有ります。

こうした法人としての方向性の歪みを是正し職員管理の権限を持っていた常勤役員に問題が有る事が6月の初めに発覚した為、急遽、理事会の確認を経て意思決定機関のメンバーを伊集院・団野・田崎・大竹の4人に変え『経営企画部』と改名して新体制によって今後、法人運営を進めて行く事としました。

9月には小規模多機能ホーム『スマイルぶらちな』の開所があり、また今年度中には新たな子育て事業の準備予定もあって日常業務に追われながらも「一人ひとりの個性“その人らしさ”が生かされる事が人々の喜びや幸せである」という価値観に焦点を当てた制度作りの為に、愚直に正々堂々と進む人の心が折れないように『経営企画部』は動いて参りますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

夫は昨年9月、初めての抗癌剤治療の朝、病院から送ってきたメールには「いよいよゲーム開始です」と。

記:大竹恵美子

< ご報告 >

<1> 独自運営親子サロン開所について

ぶらちなくらぶにて独自運営する親子サロン「ぶらちなぱーく」が8月から開所致しました。地域人材連携サロンとして、お子さんやその保護者の方、高齢者、障害者の方など参加する全ての方々が人材として参加し、企業などに向けて情報を発信する事を目指しています。様々なイベントも開催しています。綾瀬警察の並びですのでぜひ一度お立ち寄り下さい。

<2> 小規模多機能型居宅介護施設開所について

ぶらちなくらぶ事務所にほど近い綾瀬7丁目に、9月から小規模多機能型居宅介護施設「スマイルぶらちな」が開所致します。24時間体制で宿泊設備を備えており、通いサービス15名、宿泊6名の定員で住み慣れた地域となじみの人間関係の中で生活をしていくための介護等のサービスを提供する介護保険事業所です。

<3> UR新田キッズルーム開所支援について

UR賃貸住宅ハートアイランド新田四番街に12月に新設されるキッズルームについて、URリンケージさんと連携し、ぶらちなくらぶが開所支援を行っています。今後、ぶらちなとしてどの様に関わりを深めていくか検討をしながら進めています。

< お知らせ >

<1> スマイルぶらちな物品寄付について

開所にあたり、日常不用品の寄付を受け付けております。未使用のタオル、バスタオル、石鹸など、ご不要の日用品をご提供いただくと大変助かります。よろしくお願いいたします。スマイルぶらちな直通 03-5856-1850 細井までお願いします。

<2> ぶらちなぱーく自主プロジェクト募集について

ぶらちなぱーくでは全ての方ができる事から参加する各種プロジェクトを随時募集しています。こんなイベントをプロデュースしたい、自分にできる事を何かやりたい、どんどん募集しています。

お問合せはぶらちなぱーく直通 03-5856-0587 河津宛、もしくはぶらちな事務所の小谷までお気軽にどうぞ。

<3> 9/12(日)「風の子祭 忍者整いました!」の開催について

ぶらちなでは、毎年恒例の『沈黙の術』と称して口は使わず手を使って自分の気持ちを伝えるコーナーを担当します。短時間でもご協力頂ける方は事務所内の掲示物に記名をお願いします! 9/12(日)9:30~です。

編集後記

先月から職員としてお世話になっている小谷と申します。主にぶらちなぱーくの責任者として奔走していますが、その他にもできる事には何でも首をつっこんでいます。日々、勉強となる事が多く、やるべき事も多いのですが、一方で楽しい事も多く、ワクワクする事も多い毎日です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

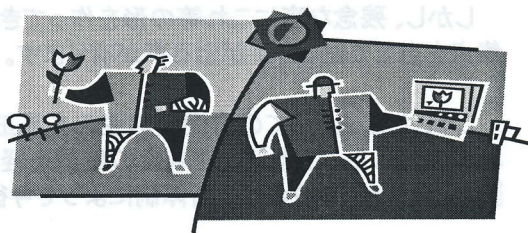
小谷 典史



皆様のご意見、ご感想、ご質問と
投稿お待ちしております!

子育て定例会は毎月月末、子センターにて

ヘルパー定例会は毎月1日事務所内です。来てくださいね!



発行所 **NPO 法人 ぶらちなくらぶ**

所在地 〒120-0005 足立区綾瀬 6-5-12-306(アドラール綾瀬)

連絡先 TEL 5697-9200 FAX 5697-9020

発行責任 大竹恵美子

編集責任 小谷 典史